

包括あんまだより

新しい年を迎え、2ヶ月が経ちましたが皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年の干支は【馬】です。馬は後ろにさがれず、前進あるのみの動物です。【馬】のように前向きに物事を考え、新しいことにチャレンジしてみたいと思っております。

当センターでもマンネリ化しないよう新しいことに毎年、取り組んでいます。地域には潜在化している課題も多々あると思います。1人の利用者の課題が地域の課題であることもあります。課題解決のために政策にもアプローチしていきたいと思っています。

ご意見がありましたらお気軽に声を掛けていただくと幸いです。

地域包括支援センターあんま職員一同

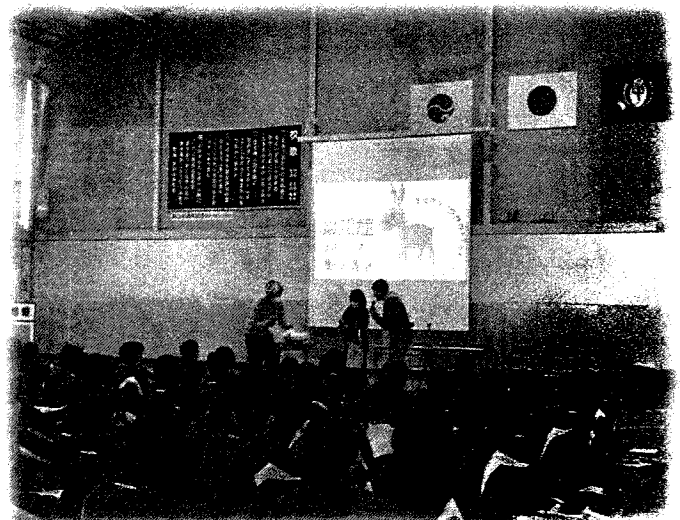
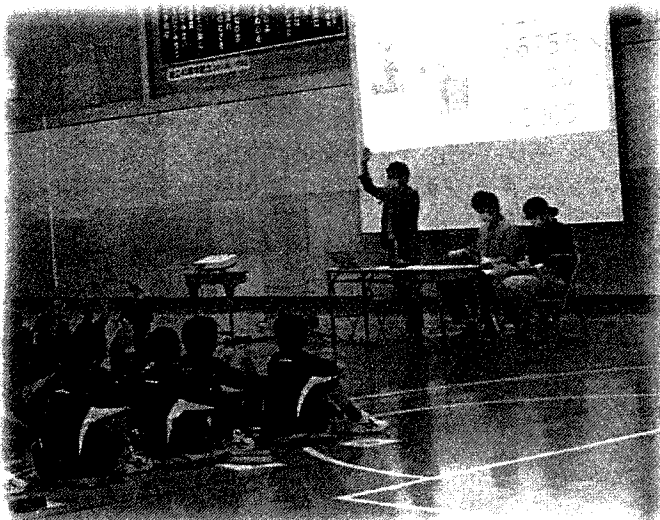
丸塚中学校認知症サポーター養成講座

令和7年11月20日（金）丸塚中学校にて認知症サポーター養成講座を行いました。当日は、中学1年生、教員、民生委員など181名の方にご参加いただきました。

講座では、認知症の基礎知識、認知症の方への適切な対応方法、地域で見守る大切さを講義しました。

教員の参加で、近所を歩く高齢者に声をどうかけたらいいかをテーマに、寸劇を行い対応の仕方を学びました。

講義後の振り返りの授業では、「高齢者が困っているときの対応の仕方で優しく声をかけることが大切だと感じました。」「実際に見る事で分かりやすかった。地域で困っている人を見かけたら、オレンジシールを確認して声をかけてみたい。」と前向きな意見もありました。



中ノ町地区ふれあいの会

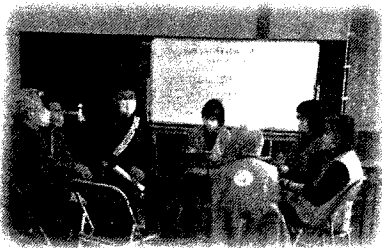
令和8年1月12日（月）に中ノ町地区自治会館ホールにて中ノ町地区ふれあい会がありました。当センターで初めて参加をさせていただきました。

第1部は有玉獅子舞保存会の皆様による獅子舞を楽しみ、第2部は中ノ町小学校PTAの皆様によるビンゴゲームで盛り上げました。世代を越えた交流があり、老若男女が集う行事でした。地域づくりを住民の皆様が大事にされていることをとても感じました。



認知症ひとり歩き模擬訓練

松小池町において、認知症ひとり歩きを想定した模擬訓練を実施しました。目的は、認知症のある方が地域で道に迷った際に、住民が早く気づき、適切に声をかけて支援につなげる力を高めることです。訓練では、実際の場面を想定し、強い口調や指示ではなく、安心感を与える声かけが重要であることを確認しました。また、一人に対応せず、周囲の人や関係機関と協力して見守ることの大切さを共有しました。参加者からは、具体的な対応方法が分かりやすかった、地域全体で支える意識が高まったとの声が聞かれました。今後も地域包括支援センターとして、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。



出張相談予定日

毎月、第4週の金曜日(祝日休み)に蒲協働センター内の「ネットワーク蒲」にて出張相談を行っております。「包括あんままで行く事が難しい。」「自宅では相談しづらい。」という方は気軽にお越しください。ご予約は不要です。

出張相談日

14:00~15:30

R8.3月27日（金）

R8.4月24日（金）

R8.5月22日（金）

R8.6月26日（金）

特殊詐欺にご注意下さい

当センター圏域内においても、詐欺被害が発生しています。電話で『お金』『カード』『暗証番号』等を聞いてきたら詐欺の可能性があります。電話があった際には家族や警察に相談し、身を守りましょう。

地域包括支援センターあんま

地域包括支援センターは、浜松市より委託された高齢者の皆様の居る所相談所です。
ご本人やご家族、お知り合いの方からのご相談を受け付けております。
営業時間：月曜日～土曜日 8:30～17:30
木曜日 19:00まで営業

053-423-2701